

韓国視察旅行レポート

私達は第三回JIA・テスクチャレンジコンペにて優秀賞をいただきました。
今年から学生も参加できるようになったのでぜひとも参加したいと思い応募しました。

今年は『寒冷地の仮設住宅』というテーマでした。

私たちは従来の仮設住宅は早急に建てることだけを目的とし、持続的な暮らしをあまり考えていないために孤独死を生み、被災からの立ち直りが遅れているのではないのかと思いました。豊かで持続可能な生活を目指し半屋外のデッキ空間に人と人、人と自然の関係をつくり、家族構成に合わせて形を変える仮設住宅を設計しました。

研修旅行は同じく優秀賞の塩貝さんと共に韓国のソウルに行かせていただきました。短い期間でしたが世界的な建築家の建築を何箇所か見て回ることができました。ザハ・ハジドの東大門デザインプラザは曲線状の建築が遺跡を取り囲むように作られ、近代的な建築と遺跡がうまく調和していることに感動しました。ドミニク・ペローの梨花女子大学は谷のような建築で、その大規模なスケールに圧倒されました。内部に入ると地中の中に居るにもかわらず軽快な空間が広がっているのに驚きました。サムスン美術館はマリオ・ボッタ、ジャン・ヌーベル、レム・コールハースの世界的建築家が過去、現在、未来の建築空間をつくりあげていました。

テスクチャレンジコンペを受賞し、研修旅行で建築を学べただけでなく、様々な人と会うことができました。これから三人は別々な道を歩みますが、この経験を生かし頑張っていこうと思います。色々とお気遣ってくれたテスクの丹会長、研修旅行でお世話になった塩貝さん、そして関係者の皆様、ありがとうございました。

北海学園大学 高橋、森本、本川



東大門デザインプラザ



梨花女子大学



サムスン美術館